

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	高齢者生きがいがづくり推進事業			事業番号	04-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	小林 幹夫	介護高齢課高齢者支援担当	志村 政昭	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	2	みんなで支え合う福祉のまちをつくる	
		施策	4	高齢者の地域生活支援の充実	
予算事業名	シルバー人材センター運営助成事業費		教養趣味講座開催事業費	老人クラブ助成事業費	
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	努力義務規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前 ~		終了年度	-
関連法令等	老人福祉法第2条、第4条:基本的理念、老人福祉増進の責務、高齢者等の雇用の安定等に関する法律(シルバー人材センター)				
国・県の計画等	第6期かながわ高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度~29年度	
関連個別計画	第6期伊勢原市高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度~29年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	高齢化社会において、多くの高齢者がその知識や経験を生かして地域を豊かにする活動が期待されています。さらには、地域活動を通じて、仲間づくりや生きがいがづくり、健康増進に繋がります。				
目的 (何をどうしたいのか)	高齢者が培ってきた知識や経験を身近な地域社会で活かすことができるようにすることにより、高齢者の社会参加を促進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	60歳以上の市民				
事業内容 (手段、手法など)	・高齢者の生きがいがづくりを推進するため、シルバー人材センターや老人クラブ活動の支援や、教養趣味講座の開催など、高齢者の社会参加を促進します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	シルバー人材センター運営支援	継続実施	継続実施		
	教養趣味講座の実施	継続実施	継続実施		
老人クラブ活動支援	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	シルバー人材センター就業者数	661人	680人	680人	

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	高齢者が元気に生きがいを持って日常生活が送れるよう、高齢者の社会参加を促進するため、引き続き、シルバー人材センターの運営支援、教養趣味講座の開催、老人クラブ活動支援を実施するほか、介護支援ボランティアポイント制度など、新たに社会貢献することのできる仕組みを構築するものとします。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 伊勢原市社会福祉協議会
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先 伊勢原市シルバー人材センター 伊勢原市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	シルバー人材センター運営支援	継続実施	継続実施
	教養趣味講座の実施	継続実施	継続実施
	老人クラブ活動支援	継続実施	継続実施
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの運営支援により、高齢者の就労支援や生きがいづくりの場を確保しました。 ・趣味の教室として9講座を実施し、生きがいづくりの場を提供しました。 ・老人クラブ活動では、健康づくり事業や教養講座等を開催するとともに、社会貢献活動を実施しました。 ・新たな社会貢献の仕組みとして、平成29年10月に介護支援ボランティアポイント事業を立ち上げました。 		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	シルバー人材センター就業者数	661人	621人
			29年度
			633人

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)	12,672		千円	15,523		千円		
	国県支出金 ①	945		千円	938		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	0		千円	0		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	11,727		千円	14,585		千円		
国県支出金の内容	神奈川県高齢者在宅福祉事業費補助金 補助率2/3(老人クラブ)								
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の教室では参加費を徴収 ・老人クラブ活動では、各単位クラブにおいて会費を徴収 						
人件費	正規職員	0.04	人	346	千円	0.04	人	349	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.04	人	346	千円	0.04	人	349	千円
トータルコスト (a)+(b)				13,018	千円			15,872	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	シルバー人材センター・老人クラブ会員数及び教養趣味講座の参加者数		単位	シルバー人材センター・老人クラブ会員数及び趣味の教室の参加者数		単位	
		対象数	3,566	人			3,584	人	
	総事業費 / 対象数	3,651	円			4,429	円		

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	シルバー人材センターの就業者数が目標に届かなかったものの、昨年度と比較して増加することができました。また、老人クラブ活動、教養趣味講座は、概ね事業計画どおりの活動となりました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	シルバー人材センターへの補助費の率は、他市と同等水準で実施しています。また、老人クラブ活動は、近隣市とブロック活動等により交流することで、他市の活動を参考にして同等水準の活動を実施しています。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	高齢者が健康で心豊かに日常生活を送ることができるように、本事業により生きがいづくり、社会貢献の場を提供することができました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	シルバー人材センターの運営支援については、市からの補助額の伸び以上に受注額が伸びていることに加え、就業人員も前年度対比で増となりました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	高齢化が進展する中で、元気な高齢者も増加していることから、生きがいづくりの場の充実が求められています。
次年度以降の取組の方向性	シルバー人材センターや老人クラブへの支援を引き続き実施するとともに、平成29年度の下半期に新たな生きがいづくりの場として立ち上げた介護支援ボランティアポイント事業の受入施設の拡大を図り、生きがいづくりの場の充実を図ります。
所管部長による総評	高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活をしていくためには、生きがいを持つことが重要になります。引き続き、シルバー人材センター及び老人クラブの活動、並びに介護支援ボランティアポイント事業などを通して、高齢者の社会参加を促進することが必要です。